

【アスリートチャーチのビジョン&今後の活動】

～キリスト・イエスにあって、競技者から礼拝者へ～

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」ヨハネの福音書 14 章 6 節

スポーツがただのツールとしてだけ用いられるのではなく、スポーツを通して弟子訓練が成され、日本でもスポーツの中で弟子を育てる。

★スポーツを通して弟子を育てること

- 日本のスポーツ愛好者たち約 7200 万人のスポーツ人口の魂の救いに携わるためにスポーツに関わるキリストの弟子を大切に育てる必要がある。
- スポーツを通じて実際にミニストリーを行なっているが、ただ楽しむだけのものからキリストの弟子を育てていくステップを伝える。
- スポーツの現場が礼拝の場所であり、チームが一つの共同体である。その中で指導者は牧者の役割を担い、福音を伝え、選手たちをキリストの愛で養っていく。

★神学校や宣教訓練にスポーツを取り入れて行く

- スポーツ界に生きる献身者の育成を行う。
献身することで競技をあきらめ神学校に通う道を選んでいたが、スポーツを取り入れることでスポーツをしながら神学・宣教の学びができるようになる。そして、すぐにスポーツの現場で仕えることができる者を育てることができる。
- 教会におけるスポーツに対するパラダイムシフトを図ることができる。
多くの教会が部活の問題に悩んでいる。スポーツを通して神様に仕える道があるということが目に見えてわかると、部活を辞めて教会に留まることだけが信仰を守ることであるという考えを覆すことができる。

祈禱課題

- 神様から頂いた大きなビジョンの前に恐れや不安を抱くことがあります。
しかし、神様が共におられることを信じ進んで行くことができますように。
- スポーツを通して教団教派の壁を越え、地域教会のネットワークが強化されて行きますように。
- スポーツの中で、たくさんキリストの弟子が育って行きますように。
- アスリートチャーチと共に歩む仲間が与えられますように。

アスリートチャーチ

〒244-0842

神奈川県横浜市栄区飯島町 1444-1 リリファ本郷台 404 号

金ジングク TEL 090-6376-8231

鈴木まどか TEL 090-6376-8232

EMAIL athlete.church@gmail.com

顧問：米内宏明（日本国際パートナーシップ代表）

池田恵賜（本郷台キリスト教会）

【支援先】 ゆうちょ銀行

記号 10940

番号 19737561

他金融機関からの振込の場合

店名 ○九八（ゼロキュウハチ）

店番 098

預金種目 普通預金

口座番号 1973756

口座名 アスリートチャーチ運営委員会



さあ！立ち上がり、

あらゆる場所が礼拝の場所になるように祈りましょう！

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

マタイの福音書 28 章 19～20 節

私たちは、神様を信じる者として神様からの使命を受けています。

今、私たちは使徒の働き 29 章（使徒の働きは 28 章までしかない）を書き続けているのです。教会の牧師だけが、羊を飼い、育てるものではありません。

私たち一人ひとりに与えられた場所があります。一人ひとりが牧者なのです。

クリスチャンのスポーツの指導者は、競技場が、体育館が、プールが礼拝の場になるために祈ります。その場所に神様が共にいてくださり、聖霊が臨まれることを願うからです。

指導者は牧者です。スポーツの現場こそが福音を伝え、イエスの弟子を育てる場所であるからです。霊の回復、癒しも起こる場所だからです。

そして、牧者である指導者を通して、神の愛が伝わるのです。

スポーツの指導者だけではありません。

すべての生活の場を私たちは礼拝の場としていく使命が与えられています。

家庭の親の役割、教師、会社のリーダー、国のリーダー。

私たちはあらゆる場所で神様を恐れるものがリーダーとなり、その場所で祈り、神の御国になることを願い求めなければなりません。

コロナの影響で、私たちは会堂で捧げるだけが礼拝ではないということを体験したと思います。様々な形で礼拝を捧げ、様々な方法で福音を伝えることを実践して来たと思います。

2021 年東京オリンピック・パラリンピック。神様が共におられなければただの祭典です。

しかし、そこに神様を信じる者が集い、

そしてそのために祈る者がいればオリンピックも礼拝の場所となります。

●石川宣教 in 内灘聖書教会 (9月20日)

スポーツクリニックの実践：
テニス&体操&ウォーキング教室
子どもたちが楽しくテニスをしていました。
あまりにも楽しくて一部と二部の両方に
参加している子供もいました。
体操教室、ウォーキング教室、急遽陸上教室と
たくさんの交わりができて感謝でした。



●北陸宣教大会 (9月21日)

宣教大会の中でスポーツミニストリーの
アピールをさせて頂き、分科会を持たせて頂
きました。「スポーツにすべてを捧げます！
あっ！スポーツを通してイエス様にすべて
を捧げます！」と宣言された牧師先生をは
じめ、たくさんの出会いに感謝です。石川
ではオリンピックに向けて、フェスティバ
ル、スポーツクリニック、またマラソン大
会開催などを計画して行きます。他の地域
の良いモデルになって行けるように全力で
サポートして行きたいと思います。



【なぜ、今日本にスポーツミニストリーが必要???】

- ①仲間を作りやすい
スポーツは、万国共通言語です。教団教派の壁も崩し、教会と地域の壁も崩します。
- ②影響力がある
日本では子供の頃からスポーツに取り組むのが特徴であり、
現在約7200万人のスポーツ愛好者が日本にはいます。
- ③今まで福音のために用いてこなかった
教会はこれまでスポーツを愛好していなかったため、
このフィールドにまだ入れていません。しかし、スポーツを通して宣教していく時に
スポーツ愛好者を獲得することができると確信しています。

注目!



こんなところにもスポーツミニストリー!!!

★教会が取り組んでいる子供の礼拝、キャンプ、チャーチスクール、児童支援、こども食堂、
孤児院などにスポーツを取り入れる。
日本の社会問題でもあるひきこもり、登校拒否、虐待、離婚家庭など問題を抱えている
子供たちをスポーツを通して回復。
一般的なクラブ、アカデミーは、弱さを持っている子供たち、
集団行動を苦手とする子供たちを受け入れないため、教会が担っていく必要がある。

STEP1-スポーツを通してまず出会う
STEP2-スポーツを通して関係を築く
STEP3-スポーツを通して魂の回復
STEP4-スポーツを通してイエス・キリストの弟子となる

周りにスポーツ大好きなクリスチャンはいませんか?
クリスチャンアスリートはいませんか?
神様から頂いた賜物を大いに活かすチャンスです!

注目!



●逗子市陸上教室 in 池子の森自然公園

9月18日から毎週金曜日5回に渡って、逗
子市体育協会から依頼を受け陸上教室を開
催しました。小学生25人ぐらい参加しまし
た。また、スタッフとして中学生2人も参
加し、スポーツを通してキリストの弟子
を育てることができた機会となりました。



●ジョイジョイかけっこ in 本郷台キリスト教会

コロナの状況下で団体スポーツは難しい中、個人
競技であるかけっこやランニングが流行りになっ
てきました。その中で新しいメンバーも加わり、
毎週楽しく汗を流しています。

暑くて
走れない時は
みんなで海へ➡



←雨でも
走る

外へ
ジョギング➡



スポーツを通してUnity(一致)とFire(聖霊の火)

●アスリートチャーチ in パークサイドチャペル

神様はいつもベストタイミング。サッカー＆フットサル好きな若者が集合し、スポーツミニストリーのビジョンについて分かち合いました。スポーツミニストリーを担う次世代の若者たちを見てワクワク!また、名古屋は来年夏にフェスティバルを開催することを目的に地域教会のネットワーク形成に取り組んで行く予定です。

そして、パークサイドの小池先生とフットサルメンバーと一緒に**ファーストビンヤードチャーチ可児福音教会**へ。

次世代を育成するために3年前に体育館を建て、すでにフットサル、卓球、バドミントンとスポーツに取り組んでいます。「中部地区のスポーツ大会にいつでも使ってください!」と仰ってください、フットサルの中部地区予選はビンヤードで!そして全国大会やりましょうと盛り上がりました。まずは、フットサルミニストリーをやってる人たちが集まり、地域リーグをやって、全国大会へ。考えるだけでもワクワクします。



●アスリートチャーチ in SiSP(静岡国際スポーツパートナーシップ)



コロナでスポーツイベントができなくなり、スポーツミニストリーに携わるのが難しい中、浜松の牧師先生方が集まってくださり、イベント以外にもスポーツミニストリーの取り組みがあり、今の日本にとっても必要な働きであることを分かち合いました。『部活に関わる子供たちと教会の在り方』『スポーツミニストリーの幅広い可能性』『スポーツを通して教会が地域と関わる方法』『今、教会が関わっている働き+スポーツ』など。質疑応答でもとても有意義な時間となりました。地域のために教会同士が教団教派を超えて協力し、励ましあい、積極的にチャレンジして行こうとしている姿を見ていつも感動します。

●アスリートチャーチ in KiSP(神奈川国際スポーツパートナーシップ)

根岸森林公園で根岸線沿いの横浜オンヌリ教会、ジャパニーズゴスペルチャーチ、本郷台キリスト教会から20人以上集まり、体をたくさん動かして交わりを持ちました。ウォーキングやフェスティバルの要素を用いたゲームなどを行ったあと、共に賛美をし祈る時間を持ちました。とても祝福された時間となり感謝です。



●アスリートチャーチ in 中野島キリスト教会

卓球ミニストリーチームでミーティングをするため、
中野島キリスト教会を訪問しました。
卓球ミニストリーに新しい仲間が増えました。
中野島キリスト教会は、16年前からジョイピンポン
という卓球ミニストリーをされている先駆者です。
ミーティングも卓球も楽しく！



【地域教会のネットワーク強化】 スポーツを通して日本にリバイバルを！

コロナの状況の中、東京オリンピックが延期になり、
多くのスポーツイベント大会が中止になってしまいましたが、
スポーツを通して宣教する手段が何もなくなってしまったのではなく、
現在、日本国際スポーツパートナーシップ (JiSP) と協力して、
スポーツを通して地域教会のネットワークを強化しています。

シモン・ペテロは舟に乗って、網を陸地に引き上げた。
網は百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。
それほど多かったのに、網は破れていなかった。

ヨハネの福音書21章11節

地域には救われるべき魂がたくさんあります。
教会同士のネットワークは強固な網となります。
教団、教派、歴史的、神学的な違いがあっても、
スポーツ・レクリエーションは万国共通言語です。
スポーツを通してチームを形成していくことも
可能ですし、すでにある牧師会や宣教団体、
ミニストリーにスポーツを取り入れていく方法も
あります。目の前に置かれた魂の救いのために、
地域の教会が協力していけますように。
1億2千万人の魂を引き上げるために、
日本中の教会が手を取り合っていくことが
できますように。



コミュニティ・パートナーシップ・チーム(CPT)とは、地域教会が連携をとり、
「スポーツとレクリエーション」を用いてコミュニティに出て行き、イエス・キリストを伝え、
人々を地域の教会へと繋げることができるように、JiSPがサポートしていく働きです。
チャンスとして与えられたオリンピックが開催されるまでの一年間、
私たちは地域の諸教会が共通した宣教戦略を通して一致し、
オリンピック前、オリンピック期間中、オリンピック後も共に歩むことができるようにすすめています。
各地域ごとにビジョンセミナーも開催しています。

お問い合わせはこちらへ⇒ HP : <https://www.jisp2024.com>

✉ : jisp2024@gmail.com